

厚生労働行政推進調査事業費補助金

厚生労働科学特別研究事業

新型コロナウイルス感染拡大期における保健所HIV等検査の実施体制の確立に向けた研究

令和2年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 横幕 能行

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター

令和3（2021）年 3月

## 目 次

I. 総括研究報告	
新型コロナウイルス感染拡大期における保健所HIV等検査の実施体制の確立に向けた研究 横幕 能行	----- 1
II. 分担研究報告	
1. 検査システム構築・感染者診療・データ解析 今橋 真弓	----- 5
III. 資料	----- 11
1. iTestingによる新しい保健所・性感染症検査の【愛知県での実施事例】	
2. iTesting Study 印刷・活用 見開き資料	
3. iTesting Study オリエンテーション	
4. 「エイズキャンペーン2020」に参加しましょう －愛知県エイズ予防強化週間（11月30日～12月6日）－	
5. エイズキャンペーン2020 「知ってる!?HIVとエイズの違い」	
6. 指先でHIV検査、結果はネットで	
IIII. 研究成果の刊行に関する一覧	----- 45

新型コロナウイルス感染拡大期における保健所HIV等検査の  
実施体制の確立に向けた研究

研究代表者 横幕 能行  
名古屋医療センター エイズ総合診療部長

研究要旨

新型コロナウイルス（以下SARS-CoV-2）感染拡大に伴う保健所HIV検査の実施施設減と受検者数減少および新規の発生届中のAIDS患者の占める割合の増加の課題を解決するために、外部委託・アウトソーシングの一例として郵送検査キットのシステムを活用したHIV検査システムの構築を行なった。適切なSARS-CoV-2感染防止策を講じ、HIV等検査機会提供を実施するとともに、要支援受検者への適切な対応が可能であった。「保健所におけるHIV検査の実施について」（令和3年3月11日付け健感発0311第3号健発0311第8号厚生労働省健康局結核感染症課長・厚生労働省健康局健康課長連名通知）も発出されたことから、本研究による検討結果は、SARS-CoV-2感染拡大下での対策としてのみならず、保健所無料匿名HIV検査の利便性向上に有用である可能性がある。

A. 研究目的

新型コロナウイルス（以下SARS-CoV-2）感染症対策により保健所HIV検査のマンパワーが不足している。また、「保健所におけるHIV抗体検査の実施について」（平成3年2月4日付け健政計発第9号・健医感発第9号厚生省健康政策局計画課長・保健医療局疾病対策課結核・感染症対策室長連名通知）では保健所HIV検査では医師が対面で結果通知と規定され、通常検査もしくは即日検査で要精査と判断された受検者は最低2回の来所が必要となる。2020年1月以降、マンパワー不足と受検者及び検査従事者の双方のSARS-CoV-2感染リスク軽減のため、現在、保健所HIV検査を停止している自治体が多く、2021年3月のエイズ動向委員会でも2020年の保健所HIV検査数の減少が報告された。SARS-CoV-2に対するワクチン接種が開始されたが、ワクチン接種業務に係る保健所職員の新たなエフォートが加わった。また、2021年3月末時点で有効な治療薬は無く、ウイルスの変異のワクチンの予防効果等への影響も未知である。これらのことを考慮すると、平成21年新型インフルエンザ感染拡大時よりも影響の長期化が危惧される。

ところで、我が国の新規HIV感染者/AIDS患者の発生動向は横ばいの状況で、かつ、AIDS発症率が依然約3割を占める。2021年3月のエイズ動向委員会では、総発生届出数の減少とAIDS患者の占める割合の増加が報告されている。

また、新規HIV感染伝播阻止を目的としUNAIDSが定めた90-90-90ターゲット（HIV感染者の90%が自らの感染を知り、そのうちの90%は治療を開始し、治療を受けている人の90%がウイルス量を抑制）のうち、我が国では最初の90のみが未達成である。我が国のHIV感染対策の課題は、早期診断・早期治療のためにHIV検査機会提供を増やすことであるが、20

21年3月末時点の保健所でのHIV検査提供機会の減少は課題克服の大きな問題である。

保健所HIV検査については、近年、保健所無料匿名HIV検査の受検者数は漸減傾向で、エイズ予防指針でも対策が求められている。諸外国では、結果のweb確認など利便性向上が図られ、郵送検査キットの利用も拡大している。我が国でも市中では民間有料郵送検査キット利用者数が増加し、「HIV検査受検勧奨に関する研究」班では精度評価も行われている。厚生労働省「職域検診HIV・性感染症検査モデル事業」の愛知県の事業では郵送検査キットを採用している。しかしながら、平成3年の「保健所におけるHIV抗体検査の実施について」の規定により外部委託を含め、新しい施策の検討・実施は困難である。

そこで、本研究においては、SARS-CoV-2感染拡大下、①適切な飛沫・接触感染対策、②アウトソーシングによる感染リスクの最小化と保健所業務の効率化、③受検者の安全と安心を実現する新しい保健所HIV等検査を立案・試行し、全国の保健所でも実施可能なモデルを提案するとともに、平成3年の「保健所におけるHIV抗体検査の実施について」の改定に係る提言を行う。

B. 研究方法

愛知県と共同で実施する。愛知県の担当者より県内の保健所に研究実施場所の提供を依頼したが全施設対応困難とのことで、会場を愛知県庁三の丸庁舎地下1階の会議室とした。検査対象はHIV、HBV、HCV、梅毒とし、採血、検査、受検者サポート、結果通知を外部委託する方法として、郵送検査キットのシステムを利用する。

郵送検査の企業の選定は、「HIV検査受検勧奨に関する研究」班における評価を参考として行う。郵送検査キットシステムを採用した先行事例は、

「職域検診HIV・性感染症検査モデル事業」があり、プライバシーが確保され適切な受検者支援が行われることが報告されているが、本モデル事業において約2割の受検者が持ち帰り後郵送検査キットを使用しなかったことから、本研究においては検査会場でろ紙血の採取を行うこととする。

#### 【検査実施方法の概略】

愛知県から予約制でHIV、HBV、HCV、梅毒のスクリーニング検査を無料で実施することに加え、検査結果は自宅で検査結果が確認できることを周知する。

受検会場で受検者が滞留しないように検査実施日に適切な人数に対し予約枠を設定し、専用のwebサイトからの予約取得を可能なシステムを構築する。予約取得者にはID番号を発行し、当日スマートフォンの画面に表示可能な電子予約票を発行する。

検査会場の管理者は、入口で検査会場に予約時間に来所した受検者のスマートフォンの予約票を確認し、職員立ち会いのもと、タブレット端末によるオリエンテーションと研究計画の開示を行う。オリエンテーションの最後には理解度を確認する。オリエンテーション終了時にタブレット上で受検及び研究参加同意を確認する。オリエンテーション終了後、郵送検査キットを手渡す。受検者は郵送検査キットを開封し、ランセットを用いて指尖より血液を漏出させ、必要量をろ紙に吸収させる。受検者はwebでの結果確認に用いるパスワードを任意に設定し、検査申し込み用紙に記入するとともに、その他の必要事項を記入する。その後、予約取得から採血までの過程について、タブレット上でアンケート調査を行う。結果確認サイトアクセスのためのQRコードが記載された用紙やID番号の控えの持参忘れがないことを確認し、郵送物が同封された郵送用封筒を検査会場出口で回収する。

受検者は帰宅後、数日を経てQRコードから郵送検査キット会社の特設サイトの結果確認画面にアクセスし、検査申込書に記載されたIDとパスワードを入力して結果を確認する。要精査・要医療受検者に対しては、郵送検査キット会社もしくは協力支援団体が窓口となり、HIVについては保健所もしくは名古屋医療センターでの確認検査の受検案内を行う。また、HBV、HCV、梅毒の要精査・要医療受検者については、郵送検査キット会社のwebページから名古屋医療センターもしくは適切な医療機関宛の紹介状(pdf)を発行する。要精査・要医療受検者の追跡は、保健所での確認検査実施、発行した紹介状への返信を以って確認する(結果の詳細は分担研究者の項参照)。

(倫理面への配慮)

本研究はヘルシンキ宣言ならびに「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、名古屋

屋医療センター研究倫理審査委員会の審査を受け、実施した。(承認年月日:2020年11月26日、承認番号:2020-066)

#### C. 研究結果

最寄りの地下鉄名城線市役所駅から徒歩5分の位置にある愛知県庁三の丸庁舎地下1階会議室を会場とし、2020年12月8日・15日・28日・2021年1月12日・19日と合計5日間実施した。開催時間は12月28日を除いて、午後1:30~6:30(最終受付)とした。

(12月28日のみ午後1:30~3:30(最終受付))。80人の予約に対し、71人(88%)が実際に受検した。受検者の平均検査会場滞在時間は22分であった。受検者71人の内アンケートに回答したのは70人(98.6%)であった。男性が56人(80%)を占め、年齢の中央値は35歳(19-67歳)であった。受検者のうち52%が本検査が生涯初めてのHIV検査であった。また一度でもHIV検査を受検したことがある受検者の内42%は1年以内にHIV検査を受けていた。検査結果は70人(98.6%)の受検者が確認した。HIVスクリーニング陽性2名は他の性感染症スクリーニング目的で受検した名古屋医療センターに定期受通院中のHIV陽性者であった。HBs抗原およびHCV抗体陽性者はいなかった。TP抗体陽性者は10人(14.1%)で3人に医療機関案内状が発行された(結果の詳細は分担研究者の項参照)。

本研究での成果も併せて検討された結果、「保健所におけるHIV検査の実施について」(令和3年3月11日付け健感発0311第3号 健発0311第8号厚生労働省健康局結核感染症課長・厚生労働省健康局健康課長連名通知)が発出された。

#### D. 考察

予約システムの導入、タブレット端末等を利用した検査オリエンテーション、郵送検査キットのシステムをうまく活用することにより受検者と検査従事者の接触機会は著減させることが可能である。このような工夫により、SARS-CoV-2等の飛沫・接触感染リスクを低減した保健所HIV検査の実施は可能である。

通常行われている保健所HIV検査では保健師、看護師、医師等の多くのマンパワーが必要であったが、今回の方法によれば最小で見守り職員1名で実施可能である。少ないマンパワーによる効率的な保健所HIV検査が可能になる。

郵送検査キットのシステムを活用することにより採血等行為が認められた施設、検体処理と検査の設備がなくてもHIV検査等が実施可能で、検査場所の設定の自由度が高まる。工夫により施設や設備に制限なく実施可能なHIV検査機会提供方法の確立は可能である。

今回検討した方法等であれば、特別な施設・設備を要せず、外部委託によるコスト抑制も可能であり、今般のような状況下でも保健所検査の休止期間の最小化と検査体制再構築が可能であり、外的要因

の影響の最小化による保健所検査体制の維持に貢献する可能性がある。

また、適切な外部委託等により、確認検査を要する受検者対応への人的資源の集中により確実な医療機関への橋渡しが可能になる。業務の効率化と質の向上による保健所検査の受検者増加が期待される。

最終的に、HIV検査等機会提供増がHIV statusの確認機会増につながり、早期発見・早期治療による新規発生届出数減とエイズ発症阻止が見込まれる。

#### E. 結論

SARS-CoV-2感染拡大による保健所HIV検査受検者数の減少の課題を受け、外部委託・アウトソーシングの一例として既存の郵送検査キットのシステムを活用し、HIV等検査の実施を試みた。適切なSARS-CoV-2感染防止策を講じ、HIV等検査機会提供を実施するとともに、支援を要する受検者に対しても適切な対応が可能であった。本研究成果を通じて保健所HIV検査に関する新たな通知が発出されたことから、今後、保健所HIV検査に外部委託導入等の工夫によりSARS-CoV-2感染拡大下での対策としてのみならず、無料匿名HIV検査の利便性向上による受検者数増加につながる成果である。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

1) Noboru Urata, Tsunamasa Watanabe, Noboru Hirashima, Yoshiyuki Yokomaku, Junji Imamura, Yasumasa Iwatani, Masaaki Shimada and Yasuhito Tanaka. Cytokines and Chemokines Involved in Hepatitis B Surface Antigen Loss in Human Immunodeficiency Virus/Hepatitis B Virus Coinfected Patients. *J. Clin. Med.* 10(4), 833. 2021. doi:10.3390/jcm10040833.

2) Imahashi M, Ode H, Kobayashi A, Nemoto M, Matsuda M, Hashiba C, Hamano A, Nakata Y, Mori M, Seko K, Nakahata M, Kogure A, Tanaka Y, Sugiura W, Yokomaku Y, Iwatani Y. Impact of long-term antiretroviral therapy on gut and oral microbiotas in HIV-1-infected patients. *Scientific Reports.* 11(1):960. doi: 10.1038/s41598-020-80247-8. 2021.

3) 今橋真弓, 金子典代, 高橋良介, 石田敏彦, 横幕能行. 名古屋市無料匿名性感染症検査会受検者における性感染症既往認識と検査結果. *日本感染症学会誌*, 31(1), 2020.

4) 蜂谷敦子, 今橋真弓, 岩谷靖雅, 横幕能行. HIV-1陽性検体を用いたAlinity mシステムによるHIV-1ウイルスの核酸定量検査の検討. *医学と薬学*. 77(10):1443-8. 2020

##### 2. 学会発表

笠原嵩翔, 三輪紀子, 羽柴知恵子, 森美喜子, 林雅、

今橋真弓, 小暮あゆみ, 横幕能行, 岩谷靖雅. 当院におけるPCP発症AIDSに対する早期ART導入の臨床的検討. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会. 2020年. 2020. 11. 27~12. 25 (Web)

菊地正, 蜂谷敦子, 西澤雅子, 椎野禎一郎, 俣野哲朗, 佐藤かおり, 豊嶋崇徳, 伊藤俊広, 林田庸総, 瀧永博之, 岡慎一, 古賀道子, 長島真美, 貞升健志, 近藤真規子, 宇野俊介, 谷口俊文, 猪狩英俊, 寒川整, 中島英明, 吉野友祐, 堀場昌英, 茂呂寛, 渡邊珠代, 今橋真弓, 松田昌和, 重見麗, 岡崎玲子, 岩谷靖雅, 横幕能行, 渡邊大, 小島洋子, 森治代, 藤井輝久, 高田清式, 中村麻子, 南留美, 山本政弘, 松下修三, 健山正男, 藤田次郎, 杉浦互, 吉村和久. 国内新規HIV/AIDS診断症例における薬剤耐性HIV-1の動向. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会. 2020年. 2020. 11. 27~12. 25 (Web)

宇佐美雄司, 荻野浩子, 大多和由美, 中川裕美子, 近藤順子, 向真紀, 華房里衣, 横幕能行. 歯科衛生士啓発のための小冊子作成について. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会. 2020年. 2020. 11. 27~12. 25 (Web)

松岡梨恵, 平野淳, 福島直子, 松木克仁, 古田みち, 今橋真弓, 岩谷靖雅, 中井正彦, 増田純一, 横幕能行. 簡易懸濁法によりビクタルビ配合錠を投与し、血漿中ビクテグラビル濃度を検討した2症例. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会. 2020年. 2020. 11. 27~12. 25 (Web)

平野淳, 松岡梨恵, 福島直子, 松木克仁, 古田みち, 今橋真弓, 岩谷靖雅, 中井正彦, 横幕能行. 新規非ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤Doravirineの有効性および安全性に関する検討. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会. 2020年. 2020. 11. 27~12. 25 (Web)

重見麗, 山村喜美, 松田昌和, 岡崎玲子, 久保田舞, 齋藤誠司, 柳澤邦雄, 柳富子, 伊部史朗, 根本理子, 前島雅美, 助川明香, 今橋真弓, 杉浦互, 岩谷靖雅, 蜂谷敦子, 横幕能行. 国内のHIV-2精査検体を用いた、HIV診断におけるGeenius HIV1/2 Confirmatory Assayの有用性についての検討. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会. 2020年. 2020. 11. 27~12. 25 (Web)

入山大希, 福島真一, 高橋宏瑞, 齋田瑞恵, 横幕能行, 塚田訓久, 内藤俊夫. 総合診療医に向けたHIV感染症に関するオンラインレクチャーの効果. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会. 2020年. 2020. 11. 27~12. 25 (Web)

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

## 新型コロナウイルス感染拡大期における保健所HIV等検査の実施体制に関する研究

研究分担者 今橋 真弓

名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部 感染症研究室長

### 研究要旨

新型コロナウイルス（以下 SARS-CoV-2）感染症対策により保健所 HIV 検査のマンパワーが不足し、HIV 検査数が大きく減少した。本研究では SARS-CoV-2 感染症リスクを最小化して行う HIV 検査体制が施行可能か検証を行った。

2020 年 12 月から 2021 年 1 月にかけて名古屋市内の保健所外にてランセット針による自己採血で HIV・HBV・HCV・梅毒（TP 抗体）の検査を行った。検査申し込みは Web 上でを行い、検査結果は受検者が Web サイト上で確認した。

のべ 5 日間の開催で、80 人が予約し、71 人が受検した。56 人(80%)が男性の受検者で 37 人(52%)が生涯初めての HIV 検査機会となった。HIV・HBsAg・HCV 抗体の新規陽性者は認められなかった。TP 抗体は 10 人(14.1%)が陽性で、その内 4 人は医療機関案内状発行又は医療機関受診の確認ができた。

以上より、SARS-CoV-2 感染症対策を講じた保健所外での自己採血による性感染症検査を安全に実施することができた。今後はこれを一つのモデルとして HIV 検査体制を構築できる可能性が示唆された。

### A. 研究目的

新型コロナウイルス（以下 SARS-CoV-2）感染症対策により保健所 HIV 検査のマンパワーが不足している。また、平成3年の「保健所における HIV 抗体検査の実施について」の通知では保健所 HIV 検査では医師が対面で結果通知と規定される。受検者は採血と結果通知の最低2回は来所が必要である。マンパワー不足と受検者及び検査従事者の双方の SARS-CoV-2 感染リスクから、現在、保健所 HIV 検査を停止している自治体が増加している。平成21年新型インフルエンザ感染拡大時よりも影響の長期化が危惧される。

近年、保健所無料匿名 HIV 検査の受検者数は漸減傾向で、エイズ予防指針でも対策が求められている。諸外国では、結果の web 確認など利便性向上が図られ、郵送検査キットの利用も拡大している。我が国でも市中では民間有料郵送検査キット利用者数が増加し、「HIV 検査受検勧奨に関する研究」班では精度評価も行われている。厚生労働省「職域検診 HIV・性感染症検査モデル事業」の愛知県の事業では郵送検査キットを採用している。

そこで本研究では SARS-CoV-2 感染症対策として三密を避けたうえで、感染リスクを最小化して行う検査体制が施行可能か検証した。

### B. 研究方法

本研究は検査予約サイトを通じて性感染症検査（HIV、HBV、HCV、梅毒）の申し込みを行った愛知

県内在住または通学または勤務する16歳以上の者とした。

#### 1. 検査の流れ（図1）

##### ① Webによる事前予約

受検者は専用の web サイトから予約を取得する。予約に際し、居住地・勤務地・通学地の郵便番号を入力し、愛知県外の場合は予約画面に進めない仕組みにした。予約取得者には ID 番号（予約 ID）が発行され、当日スマートフォンの画面に表示可能な電子予約票が発行された。

##### ② 受付

受検者は入口で検査会場に予約時間に来所しスマートフォンの予約票を提示した。

##### ③ オリエンテーションおよび同意取得

タブレット端末によるオリエンテーションと研究計画の開示を行った。オリエンテーションの最後には検査に関する理解度を確認した。研究者は、オリエンテーション終了時にタブレット上で受検及び研究参加同意を確認した。

##### ④ ろ紙血の採取実施

オリエンテーション終了後、郵送検査キットを研究者より手渡した。受検者は郵送検査キットを開封し、ランセット針を用いて指尖より血液を漏出させ、必要量をろ紙に吸収させた。

##### ⑤ 郵送のための書式作成と梱包

受検者は web での結果確認に用いるパスワードを任意に設定し、検査申し込み用紙に記入した。また、検査確認時に必要な検査日・生年月日を記入した。検査申し込み用紙とろ紙および感染性廃棄物をあわせて専用封筒に入れて返送した。検査申

し込み用紙に記載された生年月日については研究者は取得していない。

#### ⑥受検者アンケート実施

受検者は、タブレット上でアンケート調査に回答した。(年齢・性別・同居者の有無・検査歴の有無・HIV知識の確認・本検査の感想)

⑦受検者は検査会場内の投函箱に封筒を投函した。

⑧研究者がまとめて株式会社アルバコーポレーションへ郵送した。

#### ⑨結果確認

3営業日以降受検者は自分で結果確認サイトにアクセスして結果を確認した。

### 2. 結果確認と要精査・要医療受検者支援

#### ①結果確認サイトへのアクセス

受検者は、QRコードから郵送検査キット会社の特設サイトの結果確認画面にアクセスした。

#### ②サイトへのログイン

受検者は、検査申し込み用紙に記載したIDとパスワードを入力して結果を確認した。

#### ② 要精査・要医療受検者への対応

HIVについては保健所もしくは名古屋医療センターでの確認検査の受検案内を行った。HBV、HCV、梅毒については、名古屋医療センターもしくは適切な医療機関宛の案内状(pdf)が結果告知画面より発行された。

#### ④検査・受診に関わる相談

郵送検査キット会社の相談システム及びぶれいす東京の相談システム(電話、チャット)で対応した。名古屋医療センターでも要精査・要医療受検者に対しては感染症内科で電話相談に応じた。

#### ⑤要精査・要医療受検者の追跡

保健所での確認検査実施、発行した紹介状への返信を以って確認した。

### 3. SARS-CoV-2感染症対策

iTestingでは「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策」についてのガイドラインをもとに対策を講じた。(別紙「愛知県での実施事例」参照)

iTestingスタッフおよび受検者はマスク着用を原則として、受検者にはマスク着用のない場合は、受検できない旨を説明した。受付で、あらかじめインターネット予約システムにおいて取得した予約番号を確認後、非接触体温計を用い、受検者の体温測定を行った。体温が37.5度以上の受検者は受検不可とした。

「密集・密接」を避けるため、インターネット予約システムを採用して、検査前に多くの人が待機しないように、受検者を分散させた。予約枠は30分に4人とし、採血を行う机、タブレット、アルコール消毒物品を4人分準備した。オリエンテーシ

ョン・自己採血・採血後アンケートは、全て各自の1台の机で完結し、受検者の移動による接触を最小限にとどめた。各机は2m以上の間隔を保持した。

受検者とスタッフが対面で話す際は受付机をはじめ、採血をする机と受検者の間にはアクリルパネルを設置した。また会場は出入口ドアを常時開放した上、サーキュレータを設置し、換気に努めた。受検者が検査終了するたびに、机、タブレットを環境清拭用ワイプで清拭した。

本研究はヘルシンキ宣言ならびに「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、名古屋医療センター研究倫理審査委員会の審査を受け、実施した。(承認年月日：2020年11月26日、承認番号：2020-066)

### C. 研究結果

愛知県三の丸庁舎にて2020年12月8日・15日・28日・2021年1月12日・19日と合計5日間実施し、80人の予約に対し、71人(88%)が実際に受検した。開催時間は12月28日を除いて、午後1:30~6:30(最終受付)とした。(12月28日のみ午後1:30~3:30(最終受付))受検者の平均検査会場滞在時間は22分であった。

受検者71人の内アンケートに回答したのは70人(98.6%)であった。男性が56人(80%)を占め、年齢の中央値は35歳(19-67歳)であった。23人(32.9%)が独居であった。(表1)

表1：受検者属性

性別, n(%)	
男性	56(80)
女性	13(18.6)
その他	1(1.4)
年齢(歳)	
中央値(range)	35(19-67)
同居, n(%) (複数回答)	
ひとり暮らし	23(32.9)
夫・妻	26(37.1)
パートナー・恋人	3(4.3)
友人	1(1.4)
子	19(27.1)
父母	17(24.3)
祖父母	3(4.3)
兄弟	4(5.7)
その他	0(0)

受検者のうち52%が本検査が生涯初めてのHIV検査であった。また一度でもHIV検査を受検したことがある受検者の内42%は1年以内にHIV検査を受けていた。費用負担を考慮せず、会社の健診時にHIV検査を実施してほしいという問いに「思う」・「やや思う」と答えた受検者は70%であった。

HIV感染症の知識に関する質問に対しては、31.4%の受検者が「HIVは、感染している人とキスしても感染しない。」という事項に対し、知らなかったと回答した。加えて28.6%の受検者が「HIVは、蚊によって移されることはない。」という事項に対し、知らなかったと回答した。(表2)

本検査に対するアンケートについては、自己採血および会場アクセスに対して、受検者の20%以上(それぞれ25.7%および22.6%)が不満を呈していた。その他の待ち時間・プライバシー保護・受付対応・理解度確認テスト・タブレット・オリエンテーション内容・開催時間帯についてはおおむね満足度が高かった。(表3)

検査結果は70人(98.6%)の受検者が確認した。HIVスクリーニング陽性は2人だが、いずれも当院定期受診中の患者が他の性感染症スクリーニング目的で受検していた。HBs抗原およびHCV抗体陽性者はいなかった。TP抗体陽性者は10人(14.1%)であった。TP抗体陽性者のうち、3人に医療機関案内状を発行し、1人は医療機関案内状は発行しなかったものの、直接医療機関を受診し、後日治療が必要ない旨の報告が検査会社にあった。

#### D. 考察

本研究を通じて飛沫・接触感染リスクを低減した検査方法によって受検者と検査従事者の接触機会を著減させて、安全に性感染症検査を行うことができた。加えて、検査施行者の人数も最小限にして実施可能であったことから、将来保健所で検査を行う際のマンパワーの抑制にもつながる可能性がある。

本検査は検査処理と検査の設備がなくても実施可能であることから、より多様な場所での性感染症検査機会の提供を可能にする。「軽装備」での実施できるため、昨今のコロナ禍の保健所業務の激増および災害後などの非常事態でも保健所検査の休止期間の最小化と検査体制再構築を容易にすることが予想される。

受検者側の視点から言うと、人との接触・保健所訪問回数が少なく、完全に匿名で検査できる手軽さから検査が身近なものとなり、受検者数が増加するかもしれない。その結果として、自分のHIV statusの確認が容易となり、早期発見・早期治療が可能となり、エイズ発症阻止につながることを期待される。

#### E. 結論

SARS-CoV-2感染症対策を講じた上で、自己採血による郵送検査キットを用いた性感染症検査を安全に行うことができた。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

なし

##### 2. 学会発表

なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

##### 1. 特許取得

なし

##### 2. 実用新案登録

なし

##### 3. その他

なし

図1：検査の流れ

## 本研究の方法

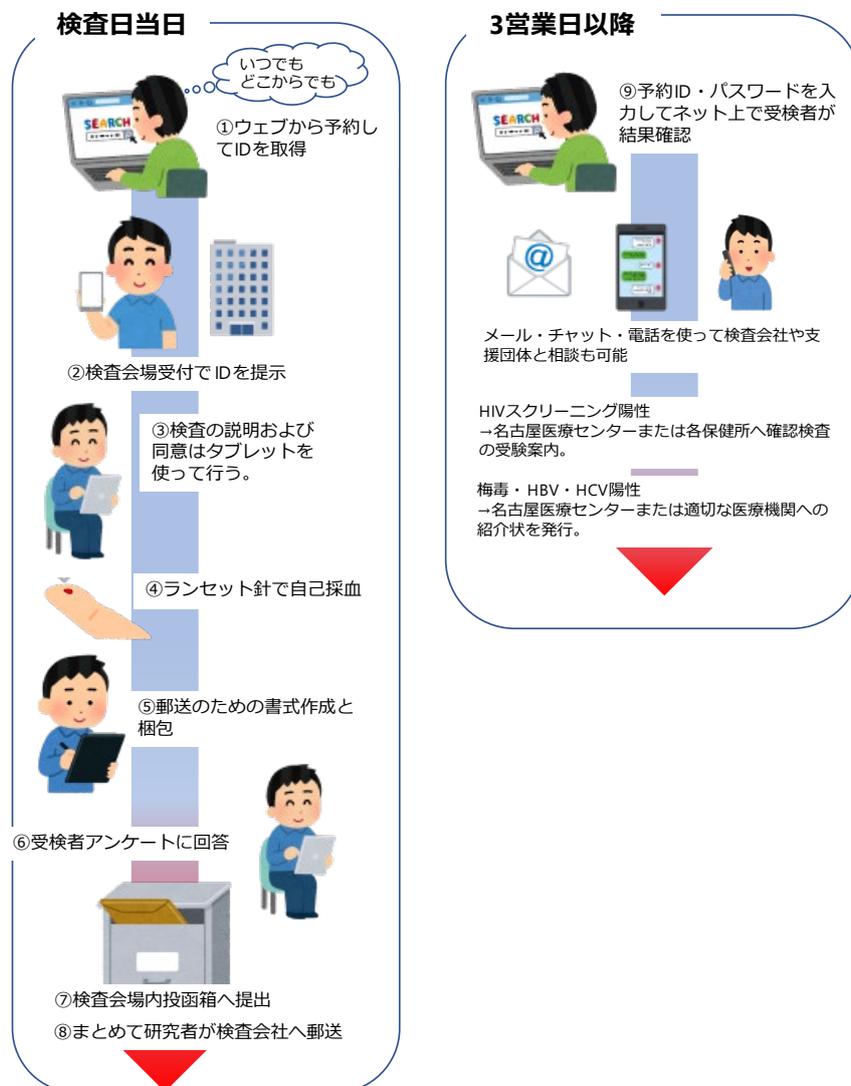
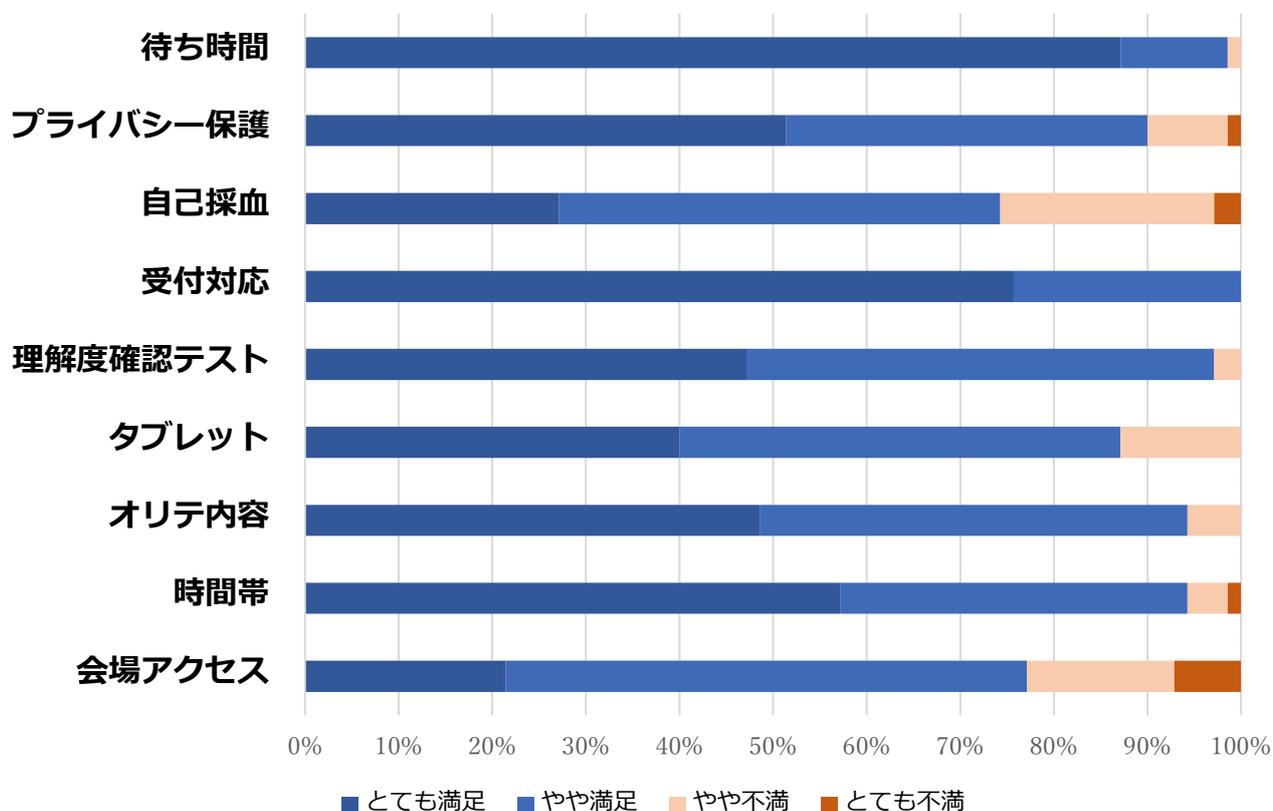


表2：HIV感染症の知識に関する質問（全問正しい事項だが、それらを「知らなかった」と回答した受検者の割合）

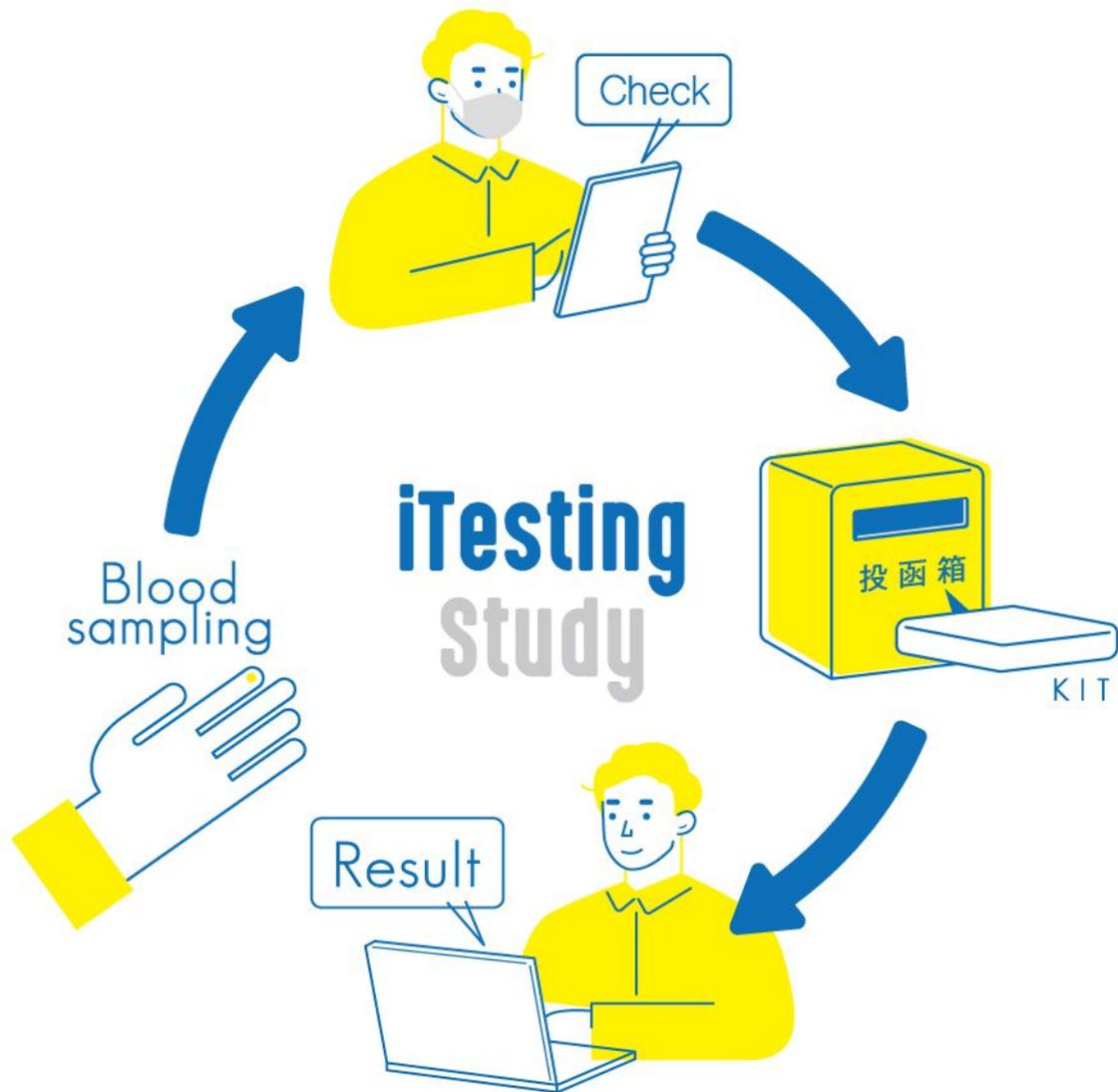
1 HIVは、感染している人と握手をしても感染しない	0
2 HIVは、感染している人と話をしても感染しない	0
3 HIVは、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない	1.4
4 HIVは、感染している人と食器を共用しても感染しない	10
5 HIVは、感染している人とキスをしても感染しない	31.4
6 HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない	11.4
7 HIVは、感染している人と無防備に性行為を行った場合、感染することがある	0
8 HIVは、感染している人とカミソリやピアス、注射器などを共用した場合に感染することがある	5.7
9 HIVは、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する	5.7
10 HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる	1.4
11 HIVは、適切に治療することにより他の人への感染を予防することができる	5.7
12 HIVは、蚊によってうつされることはない	28.6
13 HIVは、血液検査によって感染しているかどうか分かる	2.9
14 保健所では無料でHIV検査が受けられる	18.6
15 HIVには現在、感染予防のためのワクチンがない	18.6
16 健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある	10
17 特に自覚症状がなくても、HIVに感染していることがある	5.7
18 健康そうに見えても、HIVに感染していることがある	4.3

表3：本研究で行われた性感染症検査に関して



## 研究成果の刊行に関する一覧

- 1) Noboru Urata, Tsunamasa Watanabe, Noboru Hirashima, Yoshiyuki Yokomaku, Junji Imamura, Yasumasa Iwatani, Masaaki Shimada and Yasuhito Tanaka. Cytokines and Chemokines Involved in Hepatitis B Surface Antigen Loss in Human Immunodeficiency Virus/Hepatitis B Virus Coinfected Patients. *J. Clin. Med.* 10(4), 833. 2021. doi.10.3390/jcm10040833.
- 2) Imahashi M, Ode H, Kobayashi A, Nemoto M, Matsuda M, Hashiba C, Hamano A, Nakata Y, Mori M, Seko K, Nakahata M, Kogure A, Tanaka Y, Sugiura W, Yokomaku Y, Iwatani Y. Impact of long-term anti-retroviral therapy on gut and oral microbiotas in HIV-1-infected patients. *Scientific Reports.* 11(1):960. doi: 10.1038/s41598-020-80247-8. 2021.
- 3) 今橋真弓, 金子典代, 高橋良介, 石田敏彦, 横幕能行. 名古屋市無料匿名性感染症検査会受検者における性感染症既往認識と検査結果. *日本感染症学会誌*, 31(1), 2020.
- 4) 蜂谷敦子, 今橋真弓, 岩谷靖雅, 横幕能行. HIV-1陽性検体を用いたAlinity mシステムによるHIV-1ウイルスの核酸定量検査の検討. *医学と薬学.* 77(10):1443-8. 2020



## iTesting による 新しい保健所・性感染症検査の 【愛知県での実施事例】



独立行政法人 国立病院機構

名古屋医療センター

1

新型コロナウイルス  
(SARS-CoV-2)  
感染症対策により、  
多くの保健所において  
HIV検査を停止している  
自治体が増加

2

感染症対策として、  
できるだけ感染リスクを  
抑えた検査の方法を実施  
×  
保健所以外の場所でも  
施行を可能に

3

アウトソーシングによる  
感染リスクの最小化と  
保健所業務の効率化  
↓ ↓ ↓  
性感染症の早期発見・  
早期治療に繋がる

## 【従来】の保健所での性感染症検査（簡略図）



# 【iTesting】での性感染症検査（簡略図）

※検査は保健所以外の場所でも施行可能

## 【検査日】

- ウェブから予約してIDを取得
- 検査会場受付でIDを提示



## （POINT）

いつでもどこからでも  
予約ができる

## 【検査日】

- 検査の説明および同意は、  
タブレットを使って行う



## （POINT）

新型コロナウイルス  
（SARS-CoV-2）  
感染症対策を徹底した  
アウトソーシングによる  
感染リスクの最小化と  
保健所業務の効率化  
※保健所以外の場所でも  
検査の施行が可能

## 【検査日】

- 郵送検査キットの使用
- ランセット針で自己採血
- 検査会場内投函箱へ提出



まとめて検査会社へ郵送  
→検査会社で血液検査



## 【結果日】※3営業日以降

- 予約IDパスワードを入力して  
ウェブで検査結果を確認



## （POINT）

ウェブ確認で、  
誰にも知られることがない

## 【結果日】※3営業日以降

- メール・チャット・電話で  
検査会社や支援団体と相談も可能



## （POINT）

自分にあった  
相談方法の選択が可能

## 【HIV 陽性反応の場合】

- 確認検査施行後、紹介状（PDF）の発行



●HIVスクリーニング陽性  
→名古屋医療センターまたは、  
各保健所へ確認検査の受検案内

●梅毒・HBV・HCV陽性  
→名古屋医療センターまたは、  
適切な医療機関への紹介状を発行

## iTestingによるメリット

1

### 飛沫・接触感染リスクを低減した検査方法の確立

予約システムの導入、タブレット端末などを利用した検査オリエンテーション、郵送検査キットの利用により、受検者と検査従事者の接触機会は著減する。

2

### 少ないマンパワーによる効率的な保健所検査方法の確立

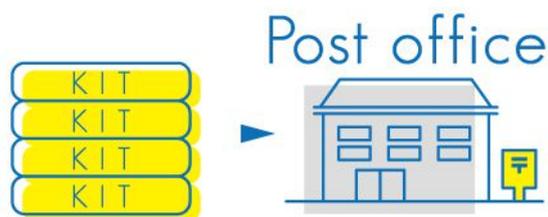
保健師、看護師、医師などの多くのマンパワーが必要であったが、最小で見守り職員1~2名で実施可能である。

(例：受検者4人に対し【受付+見守り=合計2名】で検査施行)

3

### 施設や設備に制限なく実施可能なHIV検査機会提供

例えば郵送検査キットの使用により採血等行為が認められた施設において、検体処理と検査の設備がなくても実施可能で、検査場所の設定の自由度が高まる。



### 郵送検査キット活用のメリット

- プライバシー配慮下のHIV検査機会提供が可能
- HIV検査提供の機会を拡大
- 生涯受検率向上の可能性

※郵送検査キット利用時の今後の課題

個人の健康情報の確実な保護／検査会社と医療機関・保健所との連携／  
受検者に対する相談・支援体制の充実などがある。

# 【iTesting】での性感染症検査(検査方法1/3)

※検査は保健所以外の場所でも施行可能

## 【検査日・前】

- ウェブから予約してIDを取得



(POINT)

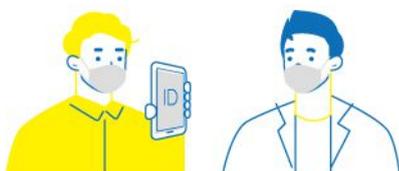
いつでもどこからでも  
予約ができる

### 《ウェブによる事前予約》

- 受検者は専用のウェブサイトから予約を取得する。
- 予約取得者には予約ID番号が発行され、当日スマートフォンの画面に表示可能な電子予約票が発行される。

## 【検査日】

- 検査会場受付でIDを提示



(POINT)

当日の検査会場、  
予約IDを見せるだけで  
スムーズに入場

### 《検査当日・受付》

- 受検者は検査会場に予約時間に来所し、入口でスマートフォンの予約票を提示する。

## 【検査日】

- 検査の説明および同意は、  
タブレットを使って行う



(POINT)

タブレット上で、  
検査の説明・同意など  
オリエンテーションが完結

### 《オリエンテーションおよび同意取得》

- タブレット端末によるオリエンテーションと研究計画の開示を行う。
- オリエンテーションの最後には検査に関する理解度を確認する。
- 職員スタッフは、オリエンテーション終了時にタブレット上で受検及び研究参加同意を確認する。

## 【検査日】

- 郵送検査キットの使用
- ランセット針で自己採血
- 検査会場内投函箱へ提出



(POINT)

ホルダーを指にあて、  
カチッと音がするまで  
押すだけ

### 《ろ紙血の採取実施》 ※検査キット・血液採取については別紙にて

- オリエンテーション終了後、郵送検査キットを職員スタッフより手渡す。
- 受検者は郵送検査キットを開封し、ランセットを用いて指尖より血液を漏出させ、必要量をろ紙に吸収させる。

# 【iTesting】での性感染症検査(検査方法2/3)

※検査は保健所以外の場所でも施行可能

## 【検査日】

- 郵送のための書式作成・梱包



### 《 郵送のための書式作成と梱包 》

- 受検者はウェブでの結果確認に用いるパスワードを任意に設定し、検査申し込み用紙に記入する。
- 検査確認時に必要な検査日・生年月日を記入する。
- 検査申し込み用紙とろ紙および感染性廃棄物をあわせて専用封筒に入れる。

## 【検査日】

- タブレットにて  
受検者アンケートに回答



### 《 受検者アンケート実施 》

- 受検者は、タブレット上でアンケート調査を行う。  
(年齢・性別・同居者の有無・検査歴の有無・HIV知識の確認・本検査の感想)

## 【検査日】

- 検査会場内投函箱へ提出



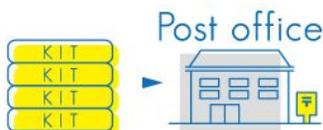
### (POINT)

郵送検査キットを  
その場で投函するだけ

### 《 検査キットの投函 》

- 受検者は検査会場内の投函箱に封筒を投函する。

職員スタッフがまとめて  
郵送検査キット会社へ郵送



### 《 検査キットの郵送 》

- 職員スタッフがまとめて、郵送検査キット会社へ郵送する。

# 【iTesting】での性感染症検査(検査方法3/3)

※検査は保健所以外の場所でも施行可能

郵送検査キット会社で  
血液検査



【結果日】※3 営業日以降

●予約 ID パスワードを入力して  
ウェブで受検者が検査結果を確認



(POINT)

ウェブ確認で、  
誰にも知られることがない

《 検査結果・確認 》

- 3営業日以降受検者は自分で結果確認サイトにアクセスして結果を確認する。
  - ① 結果確認サイトへのアクセス  
受検者は、QRコードから郵送検査キット会社の特設サイトの結果確認画面にアクセスする。
  - ② サイトへのログイン  
受検者は、検査申し込み用紙に記載したIDとパスワードを入力して結果を確認する。

【結果日】※3 営業日以降

●メール・チャット・電話で  
検査会社や支援団体と相談も可能



(POINT)

自分にあった  
相談方法の選択が可能

《 検査・受診に関わる相談 》

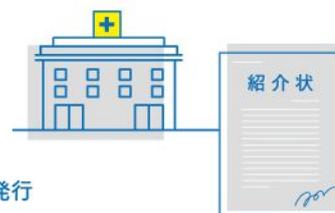
- 郵送検査キット会社の相談システム及びぶれいす東京の相談システム（電話、チャット）で対応する。
- 名古屋医療センターでも要精査・要医療受検者に対しては感染症内科で電話相談に応じる。

【HIV スクリーニング陽性】

●名古屋医療センターまたは、各保健所へ確認検査の受検案内

【梅毒・HBV・HCV 陽性】

●名古屋医療センターまたは、適切な医療機関への紹介状（PDF）を発行



《 要精査・要医療受検者への対応 》

- HIV については保健所もしくは名古屋医療センターでの確認検査の受検案内を行う。
- HBV、HCV、梅毒については、  
名古屋医療センターもしくは適切な医療機関宛の紹介状（PDF）が結果告知画面より発行される。

# 【iTesting】での性感染症検査（自己検体採取法）

※郵送検査キットを活用して、HIV・HBV・HCV・梅毒同時検査の場合

1		開封したキット全体（ランセット針は4本入っています）
2		検査申込書に必要事項を記入します。 ここで申込ID(8ケタの予約番号)やパスワード(ご自身で決めて頂きます)を記入します。 採血用ろ紙のオモテ面にもID(上記予約番号)を記入します。
3		針を刺す部分を同封されているアルコール綿で消毒します。
4		ランセット針の保護キャップをねじって引っ張り、ホルダーから取り外します。
5		ホルダーを指で保持し、刺す場所を選び、 皮膚を張らせた状態でホルダーの先端部分を刺す場所に押し当てます。
6		「カチッ」と音がするまでさらに押し付けます。
7		指先に血をためます。血玉になるまでできるだけ多くの量をためてください。 血が止まりそうな場合、指先に向けて押し出すようにマッサージすると効果的です。
8		出てきた血液はろ紙に染みこませます。 どんどん指の腹を押して血液を出してはくり返し染みこませます。
9		規定の線までろ紙に血液が染みこんだら検査完了です。 (1項目につきろ紙1本使用)
10		同封されている絆創膏を貼ります。
11		ろ紙は採血セットが入っていた袋(透明な袋)に入れます。
12		ごみは全て黄色い袋に入れます。 (検査会社にて医療廃棄物を処理してもらうため)
13		ろ紙と検査申込書の1枚目、ごみの入った黄色い袋をすべて封入して完了です。

# 【iTesting】での性感染症検査（自己検体採取法）

※郵送検査キットを活用して、HIV・HBV・HCV・梅毒同時検査の場合

【拡大版1/2】

1		<p>開封したキット全体 (ランセット針は4本入っています)</p>
2		<p>検査申込書に必要事項を記入します。 ここで申込ID(8ケタの予約番号)やパスワード(ご自身で決めて頂きます)を記入します。 採血用紙のオモテ面にもID(上記予約番号)を記入します。</p>
3		<p>針を刺す部分を同封されている アルコール綿で消毒します。</p>
4		<p>ランセット針の保護キャップをねじって引っ張り、 ホルダーから取り外します。</p>
5		<p>ホルダーを指で保持し、刺す場所を選び、 皮膚を張らせた状態でホルダーの先端部分を 刺す場所に押し当てます。</p>
6		<p>「カチッ」と音がするまでさらに押し付けます。</p>
7		<p>指先に血をためます。 血玉になるまでできるだけ多くの量をためてください。 血が止まりそうな場合、指先に向けて押し出すように マッサージすると効果的です。</p>

## 【iTesting】での性感染症検査（自己検体採取法）

※郵送検査キットを活用して、HIV・HBV・HCV・梅毒同時検査の場合

【拡大版2/2】

8		<p>出てきた血液はろ紙に染みこませます。          どんどん指の腹を押して、          血液を出してはくり返し染みこませます。</p>
9		<p>規定の線までろ紙に血液が染みこんだら          検査完了です。          （1項目につきろ紙1本使用）</p>
10		<p>同封されている絆創膏を貼ります。</p>
11		<p>ろ紙は          採血セットが入っていた袋(透明な袋)に入れます。</p>
12		<p>ごみは全て黄色い袋に入れます。          (検査会社にて医療廃棄物を処理してもらうため)</p>
13		<p>ろ紙と検査申込書の1枚目、          ごみの入った黄色い袋をすべて封入して完了です。</p>

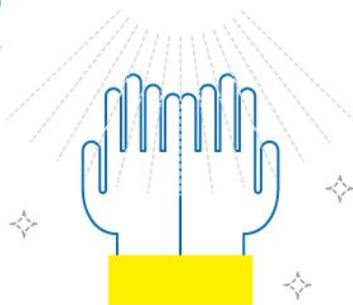
# iTesting会場での感染症対策 (ポイント1/2)



## ① マスクの着用 (サージカルマスク・布マスクなど)

安全確保のため、健診の遂行上、特に必要のある場合を除き、健診会場ではマスクの着用を原則。マスク不足が深刻な折、受検者のマスクは原則として受検者が用意。マスク着用がない場合は健診受検不可。

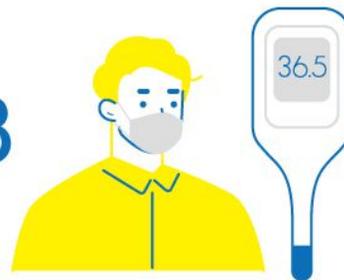
## 2



## ② アルコール消毒・清拭の徹底

会場入り口だけでなく、受検者が座るテーブルにも一つずつ消毒液を設置。また受検者が触れる箇所を定期的に消毒、各受検者が検査終了するたびに、机、タブレット全て清拭。

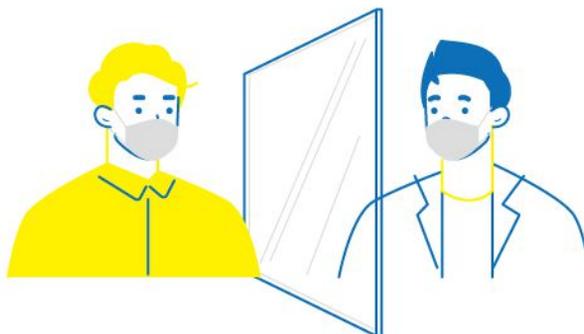
## 3



## ③ 会場入り口での体温測定

会場入り口での健診受付後、速やかに問診・体温測定を行い健康状態を確認。37.5度以上の発熱があるなど不相当と判断した場合は、説明した上で、後日、体調が回復してからの受診を促す。

## 4



## ④ アクリルパネルの設置

受診者とスタッフの間には各テーブルにアクリルパネルを設置し、対面で話す際は、適切な距離を確保するよう配慮。会場入り口にも設置。

# iTesting会場での感染症対策 (ポイント2/2)



## ⑤ 「密集・密接」の回避

受検者間の距離を確保するとともに、健診に要する時間を可能な限り短縮。

- 密集・密接を避けるため、インターネット予約システムによる完全予約制。
- 各受検者の距離は2m以上あける。
- 受検者の一日の予約者数、予約時間などを調整。



## ⑥ 接触著減による自己完結型の検査

- 郵送検査キットを使用した自己採血。終了後、投函箱へ提出。
- アルコール消毒可能な端末（タブレット）の使用。一人当たりの検査開始から終了までの時間の中央値は22分。30分あたりタブレットの台数分、予約枠を確保。

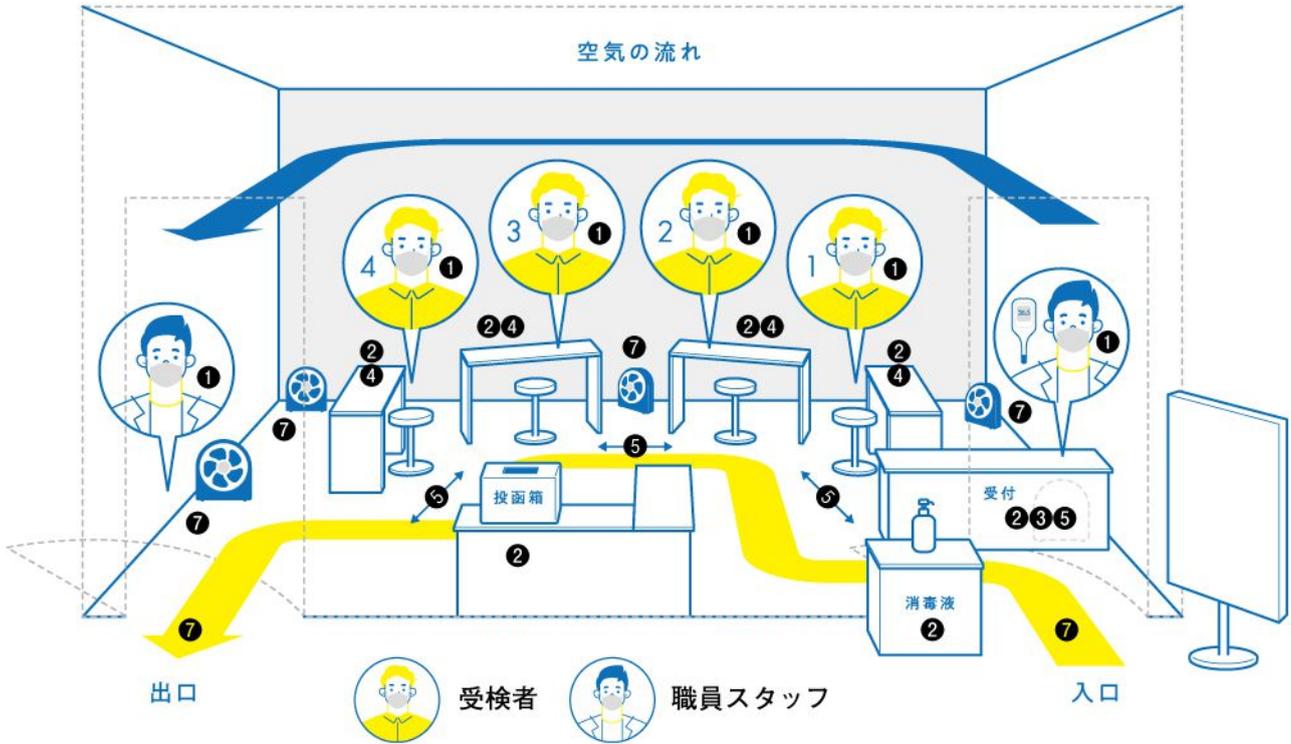


## ⑦ 室内換気・空気の循環

室内の換気は一時間に2回以上定期的に窓やドアを開けるなど行う（ただし、機械式換気装置が稼働し、十分な換気量が確保されている場合を除く）。また部屋のドアは常時開放し、室内にサーキュレーターを設置するなど空気の循環を促す。

# iTesting会場での感染症対策 (会場配置図イメージと動線)

## 【立体図】



## 【平面図】



● 空気の流れ

● 受検者の動線

- ① マスクの着用
- ② アルコール消毒・清拭
- ③ 体温測定
- ④ アクリルパネルの設置
- ⑤ 密集・密接の回避
- ⑥ 接触著減による検査
- ⑦ 室内換気・空気の循環

● 受検者 ● 職員スタッフ

## iTesting に期待できる効果

1

**外的要因の影響の最小化による保健所検査体制の維持**  
特別な施設・設備を要せず、外部委託によるコスト抑制も可能であることから、今般のような状況下でも保健所検査の休止期間の最小化と検査体制再構築を可能にする。

2

**業務の効率化と質の向上による保健所検査の受検者増加**  
確認検査を要する受検者対応への人的資源の集中により確実な医療機関への橋渡しが可能になる。またより安全安心な検査体制を確立することができ、受検者数も増加も期待される。

3

**HIV検査等の提供機会の増加による新規発生届出の減少**

HIV status の確認機会の増加による早期発見・早期治療が可能となり、新規発生届出数の減少とエイズ発症阻止につながると見込まれる。

## iTestingによる 新しい保健所・性感染症検査の愛知県での実施事例

令和2年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）  
「新型コロナウイルス感染拡大期における保健所HIV等検査の実施体制の確立に向けた研究」班

発行日 2021年3月 第1版  
発行者 研究代表者 横幕能行  
発行所 研究班事務局



独立行政法人 国立病院機構  
**名古屋医療センター**

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター  
〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1



印刷・活用 見開き資料

# 【従来】の保健所と【iTesting】での性感染症検査との違い(簡略図)

## 【従来の場合】

<p>【検査日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各保健所に直接出向く</li> </ul> 	<p>(コロナ禍の課題)</p> <p>三密になるのが心配だな…</p>
<p>【検査日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●検査の説明・相談</li> </ul> 	<p>(コロナ禍の課題)</p> <p>新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 感染症対策により、各保健所HIV検査のマンパワーが不足…</p>
<p>【検査日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●職員が採血をする</li> </ul> 	
<p>医療機関で血液検査</p> 	
<p>【結果日】※1~2週間後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●職員との対面相談</li> </ul> 	<p>(コロナ禍の課題)</p> <p>検査日と結果日 最低2回の来所が必要…</p>
<p>【結果日】※1~2週間後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●医師による対面結果告知</li> </ul> 	<p>(コロナ禍の課題)</p> <p>医師が対面で結果告知</p>
<p>【HIV 陽性反応の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●確認検査施行後、紹介状の発行</li> </ul> 	

## 【iTestingの場合】

<p>【検査日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ウェブから予約してIDを取得</li> <li>●検査会場受付でIDを提示</li> </ul> 	<p>(POINT)</p> <p>いつでもどこからでも予約ができる</p>
<p>【検査日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●検査の説明および同意は、タブレットを使って行う</li> </ul> 	<p>(POINT)</p> <p>新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 感染症対策を徹底したアウトソーシングによる感染リスクの最小化と保健所業務の効率化 ※保健所以外の場所でも検査の施行が可能</p>
<p>【検査日】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●郵送検査キットの使用</li> <li>●ランセット針で自己採血</li> <li>●検査会場内投函箱へ提出</li> </ul> 	
<p>まとめて検査会社へ郵送 →検査会社で血液検査</p> 	
<p>【結果日】※3営業日以降</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●予約ID パスワードを入力してウェブで検査結果を確認</li> </ul> 	<p>(POINT)</p> <p>ウェブ確認で、誰にも知られることがない</p>
<p>【結果日】※3営業日以降</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●メール・チャット・電話で検査会社や支援団体と相談も可能</li> </ul> 	<p>(POINT)</p> <p>自分にあった相談方法の選択が可能</p>
<p>【HIV 陽性反応の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●確認検査施行後、紹介状 (PDF) の発行</li> </ul> 	<p>●HIV スクリーニング陽性 →名古屋医療センターまたは、各保健所へ確認検査の受検案内</p> <p>●梅毒・HBV・HCV 陽性 →名古屋医療センターまたは、適切な医療機関への紹介状を発行</p>

# 【iTesting】会場での感染症対策（ポイント）



## ① マスクの着用（サージカルマスク・布マスクなど）

安全確保のため、健診の遂行上、特に必要のある場合を除き、健診会場ではマスクの着用を原則。マスク不足が深刻な折、受検者のマスクは原則として受検者に用意。マスク着用がない場合は健診受検不可。



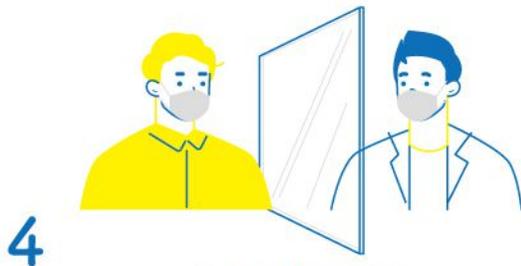
## ② アルコール消毒・清拭の徹底

会場入り口だけでなく、受検者が座るテーブルにも一つずつ消毒液を設置。また受検者が触れる箇所を定期的に消毒、各受検者が検査終了するたびに、机、タブレット全て清拭。



## ③ 会場入り口での体温測定

会場入り口での健診受付後、速やかに問診・体温測定を行い健康状態を確認。37.5度以上の発熱があるなど不適當と判断した場合は、説明した上で、後日、体調が回復してからの受診を促す。



## ④ アクリルパネルの設置

受診者とスタッフの間には各テーブルにアクリルパネルを設置し、対面で話す際は、適切な距離を確保するよう配慮。会場入り口にも設置。



## ⑤ 「密集・密接」の回避

- 受検者間の距離を確保するとともに、健診に要する時間を可能な限り短縮。
- 密集・密接を避けるため、インターネット予約システムによる完全予約制。
  - 各受検者の距離は2m以上あける。
  - 受検者の一日の予約者数、予約時間などを調整。



## ⑥ 接触著減による自己完結型の検査

- 郵送検査キットを使用した自己採血。終了後、投函箱へ提出。
- アルコール消毒可能な端末（タブレット）の使用。一人当たりの検査開始から終了までの時間の中央値は22分。30分あたりタブレットの台数分、予約枠を確保。



## ⑦ 室内換気・空気の循環

室内の換気は一時間に2回以上定期的に窓やドアを開けるなど行う（ただし、機械式換気装置が稼働し、十分な換気量が確保されている場合を除く）。また部屋のドアは常時開放し、室内にサーキュレーターを設置するなど空気の循環を促す。



# 【iTesting】会場での感染症対策（会場配置図イメージと動線）

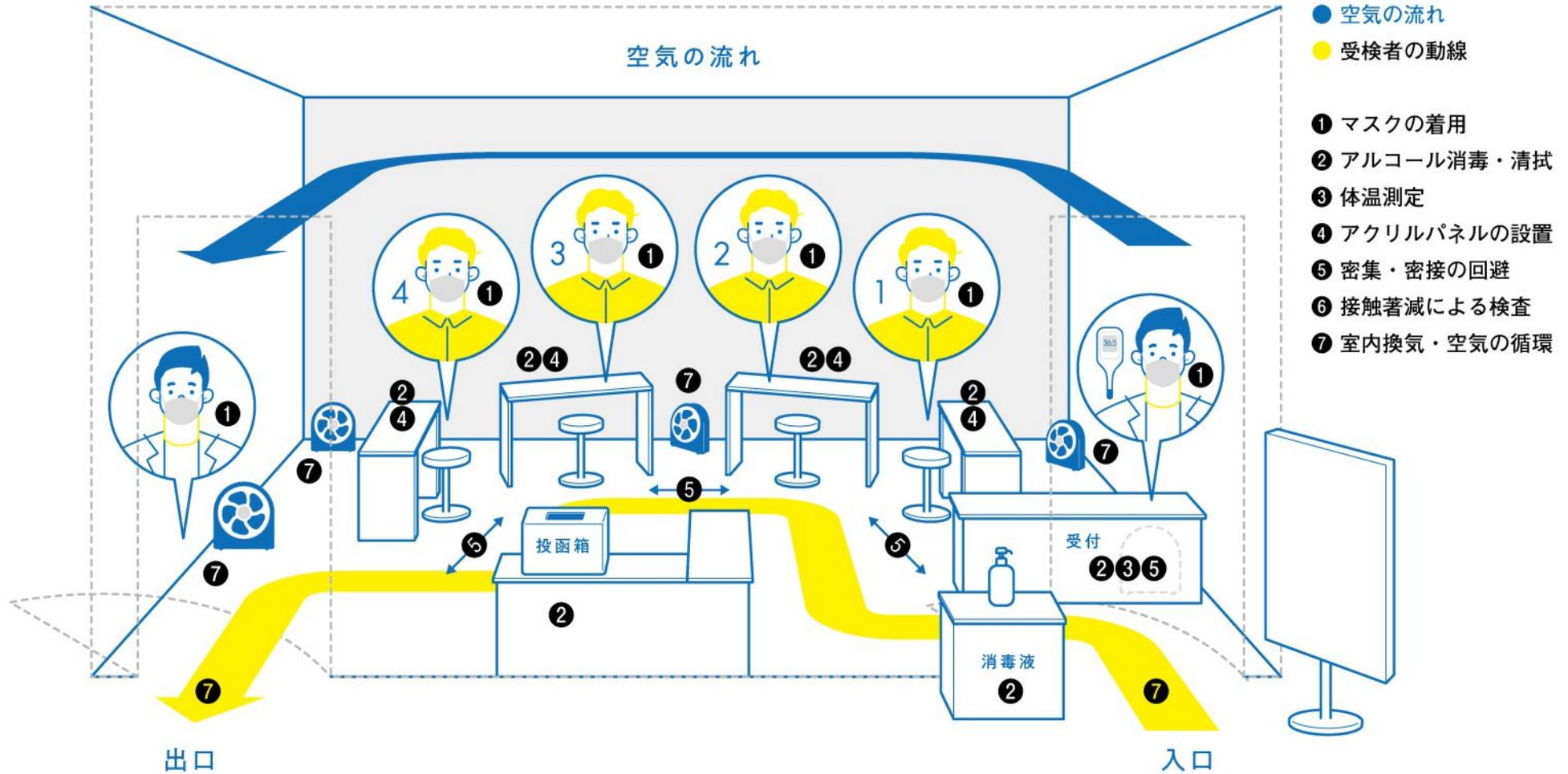
【立体図ver.】



受検者



職員スタッフ



iTesting Study  
オリエンテーション

検査項目

HIV	梅毒
B型肝炎	C型肝炎

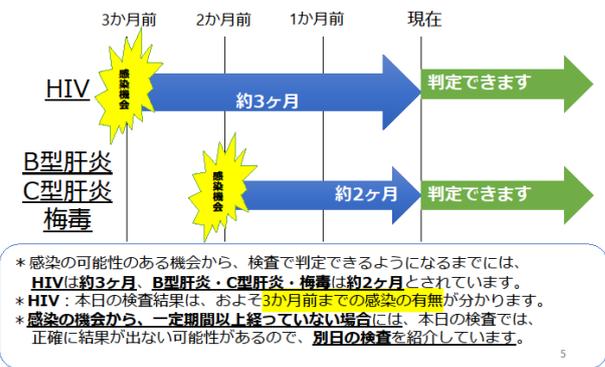
\*検査項目は、4種です。  
過去にかかったことのある方も、現在特に心当たりのない方も、**4種すべての検査をお受けください。**

オリエンテーションの内容

- ①検査について
- ②本日の流れ
- ③結果告知について
- ④相談
- ⑤意思確認

これより、①から⑤の内容についてご紹介します。  
しばらくの間、お時間とご協力をお願いします。

感染時期をチェックしましょう！



②本日の流れ（検査）

オリエンテーション（+同意）→採血

採血者	受検者自身
採血方法	採血器具（ランセット針）で行います。 

\*注射器等の器材は、使い捨てですのでご安心ください。  
\*費用はかかりません。

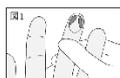
①検査会について

この検査は、**自己採血・Web告知で行います。**

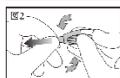
あなたのプライバシーを守ります！！

<本日> 検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>検査は全て予約番号を使用します。</li> <li>採血は受検者の方自身に行ってください。</li> <li>結果告知の際のパスワードは自分で決めてください。</li> </ul>
<7日後> 結果通知	<ul style="list-style-type: none"> <li>Web上で受検者の方が自分で結果を確認します。（予約番号・パスワードが必要です。）</li> </ul>

## ②本日の流れ（採血方法）



1. 針を刺す部位を消毒します。（図1）



2. 本品の保護キャップをねじって引っ張り、ホルダーから取り外します。（図2）



3. ホルダーを指で保持し、刺す場所を選び、皮膚を張らせた状態でホルダーの先端部分を刺す場所に押しあてます。（図3）



4. 「カチッ」と音がするまでさらに押し付けます。（図4）

5. 針はすみやかに黄色の廃棄袋に捨ててください。

6. 採血後、刺した場所はガーゼなどで止血します。

BDセーフティランセット添付文書を一部改変

10

## アンケートのご協力をお願いします

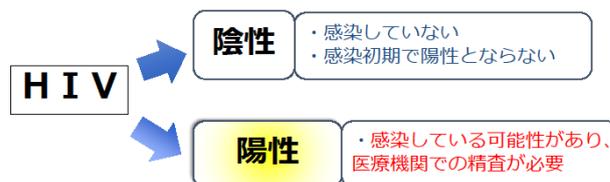
実施	採血後お願いします。
目的	本検査・予防啓発活動をより良いものにするためです。
プライバシー保護	無記名ですので、個人は特定されません。
方法	使用中のタブレットにて回答いただきます。



8

## 検査結果について

### (1) HIVの場合



## 検査結果について

### (2) B型肝炎の場合



11

## ③結果通知の流れ

日時	受付日から1~5日後 (2021年3月31日まで閲覧可能です。)
確認方法	採血後お知らせするWebサイトにアクセスして自分で確認
必要なもの	予約番号とパスワード

結果を確認することは、健康状態を知るために重要です。



9

## 検査結果について

### (3) C型肝炎、梅毒の場合



12

## 結果が陽性の場合の対応

H I V

梅毒

B型肝炎

C型肝炎

- ・信頼できる医療機関を紹介します。

現在の病状や治療の要・不要を判断するために検査を受ける必要があります。



- ・カウンセリングを受けることも可能です。

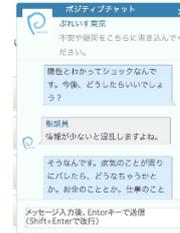
13

## ④相談について

個別相談が利用できます

検査陽性だった場合の相談

メール・チャット・電話相談が可能です。



各連絡先は結果告知ページに記載されています。

16

## HIV陽性となった場合

保健センターや医療機関での確認検査が必要です。

有効なお薬を飲むことにより  
AIDS発症を予防でき、今とほとんど変わらない  
日常生活をおくることが可能です。

医療機関を受診しないと・・・

**AIDSを発症し死の危険に直面したり、  
重い後遺症が残る場合もあります。**

14

⚠️ ここでひとまず、  
オリエンテーションは終了です。

確認クイズに移ります。

17

## ④相談について

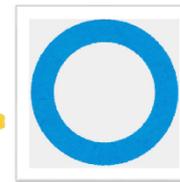
個別相談が利用できます

検査・性感染症についての相談

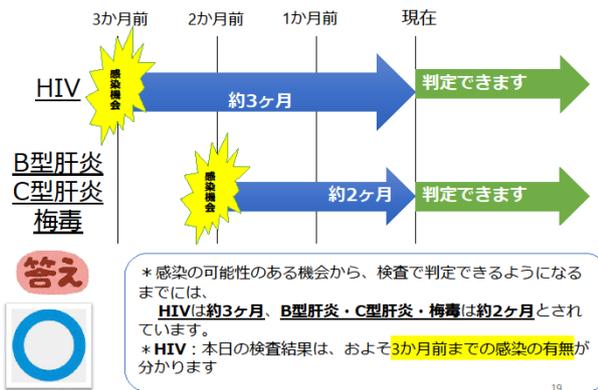
メール	STD研究所（検査会社） <a href="https://www.std-lab.jp/contact/">https://www.std-lab.jp/contact/</a>
電話	STD研究所（検査会社） 0120-712-680 携帯電話・スマホからは 06-6228-8142 月～金（祝日は除く）9:00～17:00 ぶれいす東京（特定NPO法人） 0120-02-8341 月曜日～土曜日 13:00～19:00 木曜日 15:00～18:00 HIV陽性の相談員対応 （祝日／冬期休業を除く） ※1回の相談時間は30分を目安としています

15

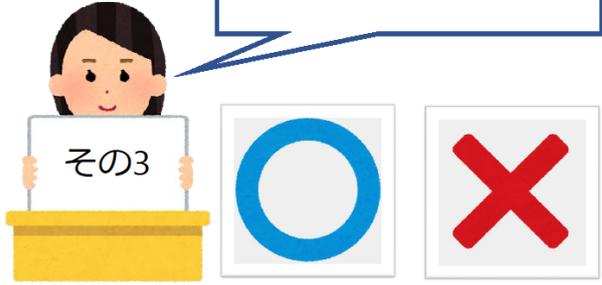
本日の検査で判別できるのは、HIVは3か月前まで、B型肝炎・C型肝炎・梅毒は2か月前までです。



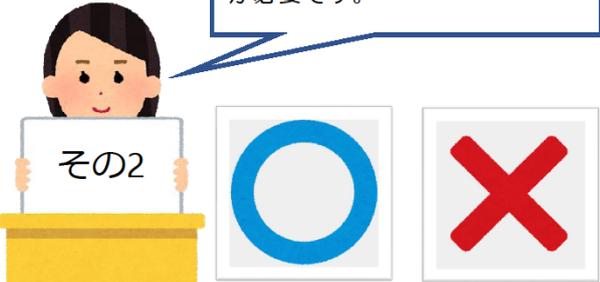
## 感染時期をチェックしましょう！



結果の告知はWeb上で行います。



本検査でHIV陽性となった場合、保健所や医療機関での確認検査が必要です。



日時	受付日から <b>1~5日後</b> (2021年3月31日まで閲覧可能です。)
確認方法	採血後お知らせするWebサイトにアクセスして自分で確認
必要なもの	予約番号とパスワード

**答え**

結果通知はWEBで行います。

### HIV陽性となった場合

保健センターや医療機関での確認検査が必要です。

有効なお薬を飲むことによりAIDS発症を予防でき、今とほとんど変わらない日常生活をおくることが可能です。

**答え**

医療機関を受診しないと・・・  
AIDSを発症し死の危険に直面したり、重い後遺症が残る場合もあります。

### ⑤意思確認について

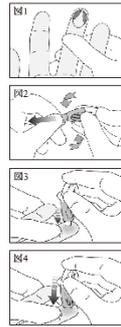
- ①今回の検査について
  - 検査項目は、HIV・B型肝炎・C型肝炎・梅毒の4種。
  - 検査で判別できるのは、HIVは3か月前まで、B型肝炎・C型肝炎・梅毒は2か月前まで。
- ②検査の流れ
  - このオリエンテーションの後、同意画面をチェック。
  - 自己採血、アンケート入力を経て終了。
- ③結果通知の流れ
  - 結果は1~5日後にウェブで確認(2021年3月31日まで閲覧可能です。)
  - 予約番号と自分で決めたパスワードが必要です。
  - 検査結果は、陽性・陰性と判定。

※質問等ありましたら、④の相談をご利用ください。

- ④相談
  - 検査に関する質問は個別相談が利用できます。
  - 検査陽性だった場合の個別相談先は結果告知画面に記載があります。

## 本日、検査を受けますか？

★検査を希望される場合…



1. 針を刺す部位を消毒します。(図1)
2. 本品の保護キャップをねじって引っ張り、ホルダーから取り外します。(図2)
3. ホルダーを指で保持し、刺す場所を選び、皮膚を張らせた状態でホルダーの先端部分を刺す場所に押しあてます。(図3)
4. 「カチッ」と音がするまでさらに押し付けます。(図4)
5. 針はすみやかに黄色の廃棄袋に捨ててください。
6. 採血後、刺した場所はガーゼなどで止血します。

BDセーフティランセット添付文書を一部改変

採血後、ろ紙に血液を染みこませたらクリック



採血に使った指は使わずにタップしてください。

## 同意取得画面

無料匿名性感染症検査を希望される場合は下の□にチェック✓を入れてください。下の□にチェック✓を入れて予約番号を入力することで本研究参加に同意したものとみなします。

この研究の参加に同意します。

ID番号:

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

参加同意の□にチェック✓および予約番号が入っていないと検査ができません。検査を希望される方は必ずチェック✓とID番号の入力をお願いいたします。

## iTesting Study アンケート

より多くの人にとってこの検査が受けやすいものになるようにご協力をお願いいたします。

回答を開始する

**！** お近くのスタッフに、同意画面を入力した旨をお伝えください。

採血キットを持参します。

スタッフから提示されたパスコードを入力してください。

--	--	--	--	--

- Q1. あなたの性別をお答えください。  
(1) 男性 (2) 女性 (3) その他
- Q2. あなたの年齢をお答えください。  
( ) 歳
- Q3. 現在、あなたが同居している人は誰ですか。(複数回答可)  
(1) ひとり暮らし (2) 夫・妻 (3) パートナー・恋人 (4) 友人 (5) 子 (6) 父母 (7) 祖父母 (8) 兄弟 (9) その他
- Q4. これまでにあなたは本プログラムを利用したことがありますか。  
(1) はい (2) いいえ (3) 答えたくない
- Q5. これまでにあなたは本プログラム以外でHIVの血液検査を1度でも受けたことがありますか。  
(1) はい (2) いいえ (3) わからない (4) 答えたくない
- Q6. あなたが本プログラム以外でHIVの血液検査を直近で受けたのはいつ頃ですか。  
【Q5で「はい」と回答した人のお答えください】  
(1) 1年以内 (2) 1~3年以内 (3) 3年以上前 (4) わからない (5) 答えたくない
- Q7. 会社の健診時にHIVの血液検査を実施してほしい(費用の負担は考慮しないでください)とお考えですか。  
(1) 思う (2) やや思う (3) あまり思わない (4) 思わない (5) わからない

Q 8. 以下のHIVに関する内容はすべて正しいことを述べています。あなたはご存知でしたか。

(1)知っていた (2)知らなかった

1. H I Vは、感染している人と握手をしても感染しない
2. H I Vは、感染している人と話をしても感染しない
3. HIVは、感染している人と一緒に仕事をして感染しない
4. H I Vは、感染している人と食器を共用しても感染しない
5. H I Vは、感染している人とキスをしても感染しない
6. HIVは、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない
7. HIVは、感染している人と無防備に性行為を行った場合、感染することがある
8. HIVは、感染している人とカミソリやピアス、注射器などを共用した場合に感染することがある
9. HIVは、感染している人の血液や精液に触れることで感染する
- 10.HIVは、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる
- 11.HIVは、適切に治療することにより他の人へ感染させる危険性を減らすことができる
- 12.H I Vは、蚊によってうつされることはない
- 13.H I Vは、血液検査によって感染しているかどうか分かる
- 14.保健所では無料でH I V検査が受けられる
- 15.H I Vには現在、感染予防のためのワクチンがない
- 16.健診などで異常がなくても、HIVに感染していることがある
- 17.特に自覚症状がなくても、H I Vに感染していることがある
- 18.健康そうに見えても、H I Vに感染していることがある

## iTesting Study

アンケートへのご協力ありがとうございました。  
 以上で本日の検査は終了です。  
 タブレットはスタッフに返却してください。

34

今回の検査会について、あなたの率直なご意見をお聞かせください。最も近いもの1つに✓してください。				
	とても満足	やや満足	やや不満	とても不満
1.会場への交通アクセスはどうでしたか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2.今回の検査会の時間帯はどうでしたか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3.検査前オリエンテーションの内容はどうでしたか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4.オリエンテーション（検査説明）でのタブレットの使い勝手（見やすさ、操作性）はいかがでしたか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5.オリエンテーション（検査説明）の理解度確認方法はどうでしたか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6.会場の受付の対応はどうでしたか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7.自分で血液を採る検査方法はどうでしたか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8.検査会全体でプライバシー保護についてはどうでしたか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9.会場にまでからの待ち時間についてはどうでしたか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

自由意見記載欄

回答を送信する



レッドリボン

2020年11月5日(木)  
愛知県感染症対策局感染症対策課  
医療体制整備室結核・肝炎グループ  
担当 久野・古橋  
内線 5193・3244  
ダイヤルイン 052-954-6626

## 「エイズキャンペーン2020」に参加しましょう —愛知県エイズ予防強化週間（11月30日～12月6日）—

12月1日は、WHO（世界保健機関）が定めた「世界エイズデー」です。

愛知県では、「世界エイズデー」を含む2020年11月30日（月）から12月6日（日）までの1週間を「愛知県エイズ予防強化週間」として、下記のとおり「エイズキャンペーン2020」及び「無料・匿名エイズ等検査会」を実施します。

多くの方の御参加・御利用をお待ちしています。

記

### 【エイズキャンペーン2020】

#### 1 目的

近年の県内におけるエイズ患者・HIV感染者数は、毎年100名前後の報告が続いており、中でも20代、30代の若い世代が半数以上を占めています。エイズの感染を予防すること、また、エイズに関する偏見や差別をなくすためには、正しい知識を身に付けることが大切です。

そこで、より多くの方、特に若い世代を中心にエイズのことを正しく理解していただくためのイベントを「エイズキャンペーン2020」として実施します。

#### 2 日時

2020年12月5日（土） 午後1時から午後5時まで

#### 3 場所

イオンモール長久手 4階 イオンホール  
（長久手市長久手中央 土地区画整理事業地内5・10・11街区）  
アクセス：リニモ 長久手古戦場駅直結

#### 4 入場料・参加料

無料

#### 5 内容（一部要予約）

##### （1）参加型イベント（午後1時から午後5時まで）

エイズについて理解していること、差別・偏見を持っていないことを目に見える形で示そう、そして発信しようというイベントです。イベントは感染症対策を適切に講じた上で実施します。

- ・ ネイル体験 「ネイルにレッドリボンを」（先着60名・予約制）  
中部美容専門学校の先生のサポートを受けながら、レッドリボンネイルの体験ができます。
- ・ ワークショップ 「マイレッドリボンをつくろう」  
レッドリボンをデザインした、オリジナルの缶バッジやくるみボタンストラップを作ります。

##### （2）「無料・匿名エイズ等検査会」（先着50名・予約制）

HIV（エイズ）と梅毒の検査を無料・匿名で受けていただけます。

### (3) 展示

- ・ポスターコンクール入賞作品展示 ・キルトに思いを託そう(キルト展)
- ・エイズ予防啓発パネルの展示 (クイズの参加者にはオリジナルのマスクケースや卓上カレンダーをプレゼントします。先着 400 名)

※ 「ネイル体験」の予約は県医療体制整備室の Web ページ (<https://airrsv.net/redribbon-nail-aichi/calendar>) で11月16日(月)から検査会当日(12月5日(土))まで受け付けます。当日の受付で予約受付の通知メールを確認しますので、予約の際はメールアドレスの登録をお願いします。  
「無料・匿名エイズ等検査会」の予約は、4ページを参照してください。

## 6 主催・協力

- (1) 主催：愛知県
- (2) 協力：中部美容専門学校名古屋校  
ベビーキルトの会  
株式会社アルバコーポレーション

## 7 その他

- ・会場にお越しの際は、マスクの着用、咳エチケット及び手指の消毒をお願いします。
- ・体調不良の方や発熱がある方には、入場をお断りする場合があります。
- ・新型コロナウイルス感染症の発生状況により急きょ中止となることがあります。その際は改めてお知らせします。

## 【無料・匿名エイズ等検査会】

### 1 目的

感染不安のある方のために、保健所等でHIV（エイズ）等の検査を実施します。保健所では検査結果が職員から対面で説明されますので、是非この機会を御利用ください。

### 2 実施会場及び検査受付日時

#### (1) 保健所

会場	検査受付日時	検査項目	実施形式	申込方法	所在地	問合せ先
愛知県 一宮保健所	2020年 12月2日(水) 午前9時から 午前11時まで	HIV 梅毒	即 通 常	当日受付	一宮市古金町 1-3	(0586)72-0321
愛知県 春日井保健所	12月1日(火) 午前9時から 午前11時まで	HIV 梅毒	通 常	当日受付	春日市柏井町 2-31	(0568)34-1699
愛知県 半田保健所	12月2日(水) 午後1時から 午後3時まで	HIV 梅毒	即 通 常	当日受付	半田市出口町 1-45-4	(0569)21-3342
愛知県 衣浦東部 保健所	12月1日(火) 午前9時から 午前11時まで	HIV 梅毒	即 通 常	当日受付	刈谷市大手町 1-12	(0566)21-4797
愛知県 豊川保健所	12月1日(火) 午前9時から 午前11時まで	HIV 梅毒	即 通 常	当日受付	豊川市諏訪 3-237	(0533)85-9699
名古屋市 青少年文化 センター 研修室	12月13日(日) 午後2時から 午後4時まで	HIV	即 日	予 約 制 ※1	名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク デザインセンター ビル9階	名古屋市健康福祉局 感染症対策室 (052)972-2631
豊橋市 保健所	12月1日(火) 午後1時30分から 午後1時45分まで	HIV	即 日	当日受付	豊橋市中野町 字中原100番地	(0532)39-9104
岡崎市 保健所	12月3日(木) 午前9時30分から	HIV	即 日	予 約 制 (先着10名) ※2	岡崎市若宮町 2-1-1 岡崎げんき館 1階・保健コーナー	(0564)23-5082
豊田市 保健所	12月3日(木) 午後6時から 午後7時まで	HIV 梅毒	郵 送	当日受付 先着25名	豊田市西町3-60 豊田市役所東庁舎 4階	(0565)34-6180

※1 予約は11月13日(金)から開始

※2 岡崎市保健所の予約は11月17日(火)から11月27日(金)まで

詳細は各保健所のWebページを御覧ください。  
即日検査の対象はHIV検査のみです。

## (2) 保健所以外の検査会

会場	検査受付日時	検査項目	実施形式	申込方法	所在地	問合せ先
イオンモール 長久手	2020年 12月5日(土) 午後1時から 午後5時まで	HIV 梅毒	郵送	当日受付 先着50名 ※1	長久手市長久手中央 土地区画整理事業地 内5・10・11街区 4階 イオンホール	愛知県 感染症対策課 (052)954-6626
愛知県 三の丸庁舎	12月8日(火) 午後1時から 午後6時30分まで	HIV 梅毒 B型肝炎 C型肝炎	郵送	予約制 ※2	名古屋市中区 三の丸2-6-1 地下1階 B105会議室	愛知県 感染症対策課 (052)954-6626  独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療セン ター (052)951-1111 担当：萩原
	12月15日(火) 午後1時から 午後6時30分まで					
	12月28日(月) 午後1時から 午後3時30分まで					
	2021年 1月12日(火) 午後1時から 午後6時30分まで					
	1月19日(火) 午後1時から 午後6時30分まで					

※1 予約は県医療体制整備室のWebページ (<https://airrsv.net/hiv-test-aichi/calendar>) で11月16日(月)から検査会当日(12月5日(土))まで受け付けます。当日の受付で予約受付の通知メールを確認しますので、予約の際はメールアドレスの登録をお願いします。

※2 厚生労働省の研究班「新型コロナウイルス感染拡大期における保健所HIV等検査の実施体制の確立に向けた研究」の研究事業「iTesting」に愛知県が協力して実施するものです。予約サイトは11月中旬頃にアイチエイズインフォメーションに掲載します。  
(<https://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/aids/>)

当日は公共交通機関によりお越しください。

### 3 受検時の注意事項

- 正しい検査結果を得るためには、感染が心配されることがあった日から3か月以上経過している必要があります。
- 検査会場にお越しの際は、マスクの着用、咳エチケット及び手指の消毒をお願いします。また、体調不良の方や発熱がある方には、検査をお断りする場合があります。
- 「即日検査」は、原則として検査当日に結果をお伝えしますが、検査の特性上、確認検査が必要となる場合があります。この場合、検査結果判明までに1週間程度お待ちいただくこととなります。「通常検査」は、当日保健所で採血までを受けていただき、検査結果は約1週間後にお伝えします。「郵送検査」は、当日会場で採血までを実施していただきます。検査結果は後日スマートフォンやパソコンから専用の検査結果確認サイトで御確認いただけます。  
(検査結果確認サイトURL <https://www.std-lab.jp/result/>)
- 新型コロナウイルス感染症の発生状況により急きょ中止となることがあります。その際は、改めてお知らせします。

# エイズ キャンペーン 2020

入場無料

## 「知ってる!? HIVとエイズの違い」

### エイズは本当に他人ごと？ 本当に大丈夫??

エイズのこと自分には関係ないと思いませんか？日本では1日約4人が新たにHIVに感染しています。愛知県でも20～30代の若い世代で感染者数が増加しています。本当に他人ごとですか？もっと知ってください。エイズのこと。



レッドリボンとは？

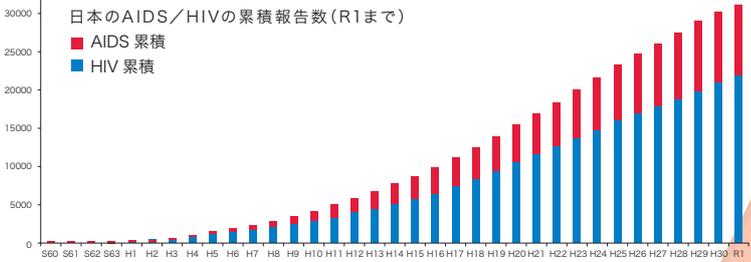
API-NETエイズ予防情報ネット

<http://api-net.jfap.or.jp/lot/whatRedribbon.html>

「レッドリボン」は、エイズに対する理解と支援の象徴です。あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。



日本の累積 HIV 感染者・AIDS 患者数グラフ



HIV/エイズは、標準的な感染予防策により感染制御が可能な疾病です。HIVに感染していても検査で感染を早期発見し、早期治療することで、感染していない人と同じように社会生活を送るだけでなく、治療の継続によりHIV感染者からパートナーへ感染させるリスクは大きく下がることも確認されていますが、これらの知見が正確な情報として十分に伝わっているとは言えず、差別や偏見を招く1つの要因となっています。本年度は「知ってる!？」という問いを通じて、より多くの人々がHIV/エイズを自分のこととして考え、「HIVとエイズ」の違い、検査、治療に関する正しい知識を身につけ、社会全体でHIV陽性者やHIV感染を心配する人たちが、検査、治療、支援等の具体的な行動につながるように寄り添いましょう。



日時 2020年 12月5日 土 13:00～17:00

場所 愛知県長久手市長久手中央 土地区画整理事業地内5・10・11街区  
**イオンモール長久手 4階 イオンホール**  
 主催/愛知県 協力/中部美容専門学校名古屋校、ベビーキルトの会、(株)アルパコーポレーション

### イベント内容

**ポスターコンクール入賞作品の展示**  
 本年度の愛知県エイズ予防強化週間ポスター募集で入賞した作品を展示します。

**マイレッドリボンをつくらう!**  
 レッドリボンモチーフにした缶バッジやオリジナルの携帯ストラップを作りましょう。

**キルト展**  
 エイズに対する差別や偏見をなくす気持ちを込めて製作したキルトを展示します。

**レッドリボンにネイルを**  
 中部美容専門学校の講師と一緒にネイルでレッドリボンを描こう  
**定員60名 要予約**  
 (予約期間) 2020/11/5～12/5(当日)まで

**HIV(エイズ)・梅毒無料検査会**  
 約10分程度の手続きでHIVと梅毒の検査が無料で受けられます  
**先着50名 要予約**  
 (予約期間) 2020/11/5～12/5(当日)まで

**エイズ予防啓発パネルの展示**  
**エイズ予防啓発資料の配布**

**注意事項**

- 検査会場にお越しの際は、マスクの着用、咳エチケット及び手指の消毒をお願いします。
- 体調不良の方や発熱がある方には、入場をお断りする場合があります。
- 新型コロナウイルス感染症の発生状況により急遽中止となる場合がありますので、御理解頂きますようお願いいたします。

ご予約はこちら

ご予約はこちら

クイズに答えて頂けるとオリジナルの卓上カレンダーやマスクケース42プレゼント

# エイズキャンペーン2020

## 「知ってる!? HIVとエイズの違い」

### 【エイズ予防強化週間付近の保健所等の無料・匿名HIV(エイズ)検査会】

保健所等で採血を行ってから、検査を実施し、検査結果は保健所等の職員から説明を受けます。

会場	申込方法	検査日時		所在地	問合せ先
		曜日	受付時間		
一宮保健所	当日受付	12月2日(水)	9:00~11:00	一宮市古金町1-3	TEL 0586-72-0321
春日井保健所	当日受付	12月1日(火)	9:00~11:00	春日井市柏井町2-31	TEL 0568-34-1699
半田保健所	当日受付	12月2日(水)	13:00~15:00	半田市出口町1-45-4	TEL 0569-21-3342
衣浦東部保健所	当日受付	12月1日(火)	9:00~11:00	刈谷市大手町1-12	TEL 0566-21-4797
豊川保健所	当日受付	12月1日(火)	9:00~11:00	豊川市諏訪3-237	TEL 0533-85-9699
名古屋市青少年文化センター研修室	予約制 ※1	12月13日(日)	14:00~16:00	名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク デザインセンタービル9階	名古屋市健康福祉局 感染症対策室 TEL 052-972-2631
豊橋市保健所	当日受付	12月1日(火)	13:30~13:45	豊橋市中野町 字中原100番地	TEL 0532-39-9104
岡崎市保健所	予約制 (先着10名) ※2	12月3日(木)	9:30~	岡崎市若宮町2-1-1 岡崎げんき館 1階・保健コーナー	TEL 0564-24-5082

※1 予約は11月13日から開始 ※2 岡崎市保健所の予約は、11月17日から11月27日まで 詳細は各保健所のホームページ等を御覧ください

### 【愛知県エイズ予防強化週間関係の無料・匿名HIV(エイズ)等イベント検査会】

郵送検査キットを利用するため、当日の手続きは採血を含めて10分程度で完了します。

検査結果は後日、専用の検査結果確認サイトから御確認頂きます。

検査結果を確認した後、不安な方には健康相談等のフォローアップを適切に実施します。

会場	申込方法	検査項目	検査日時		所在地	問合せ先
			曜日	受付時間		
イオンモール長久手	予約制 (先着50名) ※1	HIV 梅毒	12月5日(土)	13:00~17:00	長久手市長久手中央 土地区画整理事業地内 5・10・11街区 4階 イオンホール	TEL 052-954-6626
愛知県 三の丸庁舎	予約制 ※2 (当日は公共 交通機関でお越 しく下さい。)	HIV 梅毒 B型肝炎 C型肝炎	12月8日(火)	13:00~18:30	名古屋市中区 三の丸2-6-1 地下1階 B105会議室	愛知県感染症対策課 TEL 052-954-6626  独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター TEL 052-951-1111 担当 荻原
			12月15日(火)			
			12月28日(月)	13:00~15:30		
			1月12日(火) 1月19日(火)	13:00~18:30		
豊田市保健所	当日受付 (先着25名)	HIV 梅毒	12月3日(木)		18:00~19:00	豊田市西町3-60 豊田市役所東庁舎4階

※1 予約は次のURL (<https://airrsv.net/hiv-test-aichi/calendar>) のウェブサイトにて11月5日から検査会当日(12月5日)まで受付可。

当日の検査の受付には予約受付の通知メールの提示が必要ですので、予約の際はメールアドレスの登録をお願いします。(予約方法の詳細は予約サイトで御確認ください。)

※2 厚生労働省の研究班「新型コロナウイルス感染拡大期における保健所HIV等検査の実施体制の確立に向けた研究」の研究事業「iTesting」に愛知県が協力して実施するものです。

予約サイトは11月中旬頃にアイチエイズインフォメーション(<https://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/aids/>)に掲載します。当日は公共交通機関によりお越しください。

注意  
事項

- 検査会場にお越しの際は、マスクの着用、咳エチケット及び手指の消毒をお願いします。
- 体調不良の方や発熱がある方には、検査をお断りする場合があります。
- 新型コロナウイルス感染症の発生状況により急遽中止となることがありますので、御理解頂きますようお願いいたします。

アイチエイズ  
インフォメーションの  
QRコード





# 指先でHIV検査、結果はネットで

郵送検査キットを利用するため、当日の手続きは採血を含めて10分程度で完了します。検査結果は後日、専用の検査結果確認サイトからご確認いただけます。

会場	申込方法	検査項目	検査受付日時		所在地	問合せ先
			曜日	受付時間		
イオンモール 長久手	予約制 (先着50名)※1	HIV 梅毒	12月5日(土)	13:00 ~ 17:00	長久手市長久手中央 土地区画整理事業地内 5・10・11街区 4階 イオンホール	愛知県感染症対策課 TEL (052)954-6626
愛知県 三の丸庁舎	予約制※2 当日は公共 交通機関で お越しください。	HIV 梅毒 B型肝炎 C型肝炎	12月8日(火)	13:00 ~ 18:30	名古屋市中区 三の丸2-6-1 地下1階 B105会議室	独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター TEL (052)951-1111 担当: 萩原
			12月15日(火)			
			12月28日(月)	13:00 ~ 15:30		
			1月12日(火)			
1月19日(火)	13:00 ~ 18:30					
豊田市保健所	当日受付 (先着25名)	HIV 梅毒	12月3日(木)	18:00 ~ 19:00	豊田市西町3-60 豊田市役所東庁舎4階	TEL (0565)34-6180



愛知県エイズキャンペーン  
検査会



アイチエイズ  
インフォメーション

「厚生労働科学研究費における倫理審査及び利益相反の管理の状況に関する報告について  
(平成26年4月14日科発0414第5号)」の別紙に定める様式(参考)

令和 3 年 3 月 4 日

厚生労働大臣  
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿  
(国立保健医療科学院長)

機関名 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター  
所属研究機関長 職 名 院長  
氏 名 長谷川 好規 印



次の職員の令和2年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 厚生労働科学特別研究事業
- 研究課題名 新型コロナウイルス感染拡大期における保健所 HIV 等検査の実施体制の確立に向けた研究
- 研究者名 (所属部局・職名) 感染症内科 ・ エイズ総合診療部長  
(氏名・フリガナ) 横幕 能行 ・ ヨコマク ヨシユキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立病院機構名古屋医療センター研究倫理審査委員会	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること(指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

「厚生労働科学研究費における倫理審査及び利益相反の管理の状況に関する報告について  
(平成26年4月14日科発0414第5号)」の別紙に定める様式(参考)

令和3年3月23日

厚生労働大臣  
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿  
(国立保健医療科学院長)

機関名 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター  
所属研究機関長 職名 院長  
氏名 長谷川 好規 印



次の職員の令和2年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 厚生労働科学特別研究事業
- 研究課題名 新型コロナウイルス感染拡大期における保健所 HIV 等検査の実施体制の確立に向けた研究
- 研究者名 (所属部局・職名) 感染・免疫研究部 ・ 感染症研究室長  
(氏名・フリガナ) 今橋 真弓 ・ イマハシ マユミ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立病院機構名古屋医療センター研究倫理審査委員会	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること(指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし、一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。